

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ギフト		
○保護者評価実施期間	2026年 6月 2日 ~ 2026年 6月 12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2026年 6月 2日 ~ 2026年 6月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されておらず、保護者からの事業所の支援内容の満足度が高い。	日々の活動を固定化されないよう、職員間で話し合いを重ね、複数の活動内容を取り入れている。 保護者様との定期的な面談を行ったり、送迎時等にお話を伺ったりして、寄り添った支援を行っている。	今後も継続して様々な活動を提供していく中で子どもたちの成長を伝え、将来像を描けるようスモールステップの目標を共有する。 保護者様との連携をしっかりと取り、頼れる場所になるようにしていく。
2	定期的に通信やSNS等で活動内容や子どもの様子を発信している。	写真や動画、制作物等、活動内容を分かりやすく発信している。 活動の狙いや子どもたちの事業所での自然な姿を伝えている。	家とは違う一面が伝わるよう発信したり、送迎や参観等で来所された際に活動が分かりやすいよう写真を掲示したりする。 連絡アプリやLINEを活用して保護者様にも写真を共有していく。
3	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	子どもの特性を理解、共感し、保護者様と子どもの状況を共有し支援をしている。 連絡アプリを使用し、いつでも連絡していただけるよう、また定期的に確認することで連絡漏れのないよう気をつけている。	保護者様との情報共有ができていて日々の活動にも反映することができているので、今後もやり取りを大事にしていき、子どもや保護者様との関係を深め、信頼関係をお互いに築いていけるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会の少なさ。	事業所内の活動で完結しているため、地域の子どもや児童クラブの子どもたちと関わる機会が少ない。	地域や児童クラブの子ども達と関われるような企画を今後検討していく。
2	保護者会等の開催や保護者同士の交流、兄弟への支援の少なさ。	ペアレントトレーニング等に対する周知や関わる機会が少ない。	年に数回家族や兄弟が参加できる交流の場を作ったり、定期的に面談を開催し、参加できるようにしていく。 参加が難しい方向けには、SNSや手紙等で内容を共有する。
3	2階が夏場は暑い。	天井が平らで低く、直射日光がダイレクトに室内へ伝わる。	カーテンをつける、サーキュレーターを回すなど気持ちの良い環境で過ごせるよう対応する。 水分補給をこまめに声掛けする。